

避難の連携意識高める

盛岡二高と
白梅幼稚園
火災想定し合同訓練

盛岡

盛岡市上ノ橋町の盛岡二高（菅原尚志校長、生徒596人）の生徒54人は2日、隣接する白梅幼稚園（大橋文四郎園長、園児45人）の園児38人と合同避難訓練を行い、有事の際の連携意識を高めた。

防災の日に合わせて行われ今年で2回目。同校から保育士や教員を志望する生徒などが参加した。幼稚園での火災発生を想定し、園児らが隣接する同校敷地に避難すると、待機していた生徒が園児の手を引いて体育館下のピロティまで誘導した。

同校の山平禎二副校長は「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」の



手をつないで白梅幼稚園児を避難場所へ誘導する盛岡二高の生徒

頭文字からとった標語「おはしも」について確認し「何か困ったことがあったら盛

岡二高に来てほしい」と呼び掛けた。
「園児が思っていたよりもしつかり行動できていたのが印象に残った」と学びを

岩手日報 令和元年9月4日(水)付
この記事・写真は、岩手日報社の
許諾を得て転載しています。